

令和6年度 **長崎市地域包括支援センター活動報告**

長崎市の
統計

	令和7年3月末	(令和6年3月末)
65歳人口	135,105人	(135,450人)
高齢化率	34.9%	(34.5%)
要支援認定者	6,880人	(6,748人)
認定者数計	28,147人	(28,295人)
認定率	20.8%	(20.9%)
事業対象者	2,752人	(2,587人)
総合相談延件数	65,098件	(67,714件)



地域包括支援センターがこの1年特に力を入れた活動一覧

各地域包括支援センター活動報告の紙面左スペースに最も力を入れた活動を掲載しています。内容の詳細は、各包括の活動報告をご覧ください。

長崎市包括的支援事業実施方針の重点項目

- 1 介護予防の推進
- 2 認知症に関する取り組みの充実
- 3 地域ケア会議を活かした活動の展開
- 4 権利擁護事業の推進

実施方針の項目	包括名	令和6年度活動紹介「力を入れた活動」のテーマ
介護予防の推進	桜馬場	今年度は「栄養」に着目して介護予防活動を実践しました
	江平・山里	フレイルの早期発見・対策に向けた取り組み
	淵	地域で取り組む健康づくり活動に向けた取り組み
	西部	多職種連携による口腔ケアへの取り組み
	岩屋	男性を中心とした介護予防教室「健康塾シリーズ」の発展！！
	琴海	今年度は オーラルフレイルの啓発の継続・ACPの啓発に力を入れました！
	深堀・香焼	伊王島地区出張相談を活かした介護予防の取り組みについて
	南部	60歳からの健康チェックを実施しました！
認知症に関する取り組みの充実	東長崎	認知症普及啓発イベント
	片淵・長崎	地域の高齢者と小・中学校の多世代交流
	西浦上・三川	認知症に関する普及啓発の取り組み
	緑が丘	「新しい認知症観」に向けて
	滑石・横尾	「新しい認知症観」に向けて地域で考えたい、認知症の理解と対応」をテーマとした地域ケア推進会議を開催
	土井首	多世代に向けた認知症の普及・啓発
	深堀・香焼	笑話カフェ「深堀」の立ち上げについて
地域ケア会議を活かした活動の展開	日見・橘	日見地区で、「防災」をテーマに地域ケア推進会議を開催しました！
	大浦	令和6年度大浦版地域包括ケアシステムを構築するための取り組み！
	小江原・式見	個別課題から地域づくり・社会資源の開発へ
	三重・外海	外海地区の生活援助の実情と今後について
	小島・茂木	令和6年6月26日上小島地区地域ケア推進会議を開催しました！
権利擁護事業の推進	戸町・小ヶ倉	権利擁護の推進

令和6年度の新たな取組(一部を紹介)

【フレイル(虚弱)予防の取組】

●高齢者ふれあいサロンで実施する内容のマナー化や認知症高齢者対応に苦慮している等の課題解決のため、食生活改善推進員や認知症サポーターリーダー等の健康づくり推進員が協力して、認知症予防に効果がある食事を学ぶ料理教室を2回開催しました。バランス良く、よく噛んで3食食べる重要性や、献立・買い物・調理の段取りが認知症予防に効果的であることを楽しく学ぶ機会の提供につながりました。〈西浦上・三川〉

●普段関わる機会が少ない前期高齢者を対象とした「60歳からの健康測定会」を開催し、来年度からは地域コミュニティ連絡協議会が継続実施することになりました。包括は運動・栄養改善について学ぶフレイル予防教室を開催し、介護予防に取組みます。〈南部〉

【共生社会に向けた地域づくりの取組】

●認知症当事者の会から認知症の日にイベントを開催したいとの希望があり、市内の商業施設で地域内の企業や大学と協働したイベントを開催しました。イベントでは当事者による喫茶コーナーや認知症に関する相談、ひとり歩き高齢者の声掛けサポート体験等を行いました。約150名に参加いただき、認知症になってもできることがたくさんあると普及啓発する機会となりました。〈東長崎〉

●認知症サポーターリーダーと共に地域ケア推進会議を開催し、39名の地域住民が参加されました。認知症を正しく学び一人一人ができることについて考え、「まず挨拶し、顔なじみの関係を作る」「自分事として考えるきっかけとなった」等の感想をいただき、今後の会議にはさらに広い世代へ参加を呼びかけていくことになりました。〈滑石・横尾〉

通所型サービス

	R4	R5	R6
短期集中型通所サービス決定者(年間)	232	252	215
通所相当(3月利用者)	2,669	2,737	2,761
ミニデイサービス(3月利用者)	376	399	391

訪問型サービス

	R4	R5	R6
短期集中型訪問サービス決定者(リハ)	14	25	26
"(栄養)	15	13	15
"(口腔)	2	8	10
"(合計)	31	46	51

住民主体の通いの場づくり・支援

	R4	R5	R6
高齢者ふれあいサロンサポーター養成者数	73	60	51
延べ養成者数	1,498	1,558	1,609
活動者数	559	577	526

通いの場の開設状況(令和6年度末現在)			(か所)
市サロン	社協サロン	自主G	
62	104	104	

・在宅支援リハビリセンター等と協働で地域の通いの場づくりの支援を行い、令和6年度中に4か所の市サロン、6か所の社協サロン、9か所の自主グループが活動を開始しました。

介護予防の推進

地域ケア会議

地域ケア会議
(地域包括
ケアシステム)

	R4	R5	R6
地域ケア推進会議	58回	50回	46回
自立支援型地域ケア個別会議	115回 180件	87回 124件	82回 115件
処遇困難個別事例ケア会議	74件	93件	129件

【地域ケア推進会議での地域課題と取り組み内容(一部)】

- 自立支援型地域ケア個別会議事例積み上げによる推進会議
・専門職の意見交換から地域支援事業の周知不足が課題として挙がりました。自立支援型地域ケア個別会議を利用して、地域支援事業利用により機能改善につながった事例を提示し、サービス利用促進を図ることとし、短期集中型訪問サービス事業(リハビリテーション専門職指導)の紹介を行いました。今後も、事例を通じた事業の周知を継続することになりました。〈西浦上・三川〉
- 地域の実情を反映した媒体による介護予防普及啓発
・地域ケア会議において、令和4年度に作成した地域版介護予防媒体をより幅広い世代に常に見てもらえるよう検討し、カレンダーとして高齢者や関係機関に利用してもらうことになりました。成果物を地域へ広く配布し、健診結果や介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等からみえる地域の課題に即した介護予防の普及啓発に努めました。〈大浦〉

認知症カフェ

・新たに1か所が新規開設しました。
・認知症カフェをきっかけに、家族等の不安や悩み等を共有できる定期的な集いの場となっています。

(か所)		
R4	R5	R6
26	27	28

認知症サポーターリーダー養成講座

・認知症カフェや家族会の支援、認知症サポーター養成講座など、認知症地域支援の担い手として地域で活動されています。

R4	R5	R6
8	9	30
132	119	115

認知症スクリーニング検査

・853件のうち、集団けん診会場で276件の検査を実施しました。通いの場では少なかった前期高齢者や男性に検査の機会を提供できました。
・出来るだけ早期に適切な治療やサービスにつなぐ等の支援を実施しました。

R4	R5	R6
397	801	85
120	215	26

認知症初期集中支援チーム

・包括に寄せられる相談をきっかけに専門チームが介入し、必要な医療や介護サービスにつながりました。

R4	R5	R6
61	71	70
36	37	35

権利擁護の推進 虐待防止

	R4	R5	R6(暫定)
延支援件数	1,750	1,648	1,402
被虐待者数	126	137	99
分離(別居)した事例	47	47	35

- ・対応に苦慮した事例では、長崎県高齢者虐待対応専門職チームを活用し助言を受けることで、適切に対応することができました。(計2回)
- ・高齢者虐待防止への意識向上と相談窓口の周知のため、地域の高齢者や支援関係者、学生などに対し高齢者虐待防止に関する講話や研修を行いました。(計63回)

家族介護教室

R4	R5	R6
42	38	35

- ・介護者同士の交流、介護のリフレッシュ、介護負担の軽減に向けた介護食実習や排泄ケア等、介護技術の習得を行いました。
- ・家族介護教室以外にも、家族等介護者同士が交流できる集いの場を開催し、家族会立ち上げつながらる活動を行っている包括がありました。

成年後見制度

	R4	R5	R6
延支援件数	732	932	1,058
相談実人数	196	189	200
申立支援数	34	50	42

- ・令和6年度より設置された長崎市権利擁護・成年後見支援センターと36件の連携を行い、昨年度よりも多くの相談に対応することができました。
- ・制度の普及啓発のため、地域の高齢者や支援関係者、学生などに対し制度の説明を行いました。(計51回)